

育てる・食べる・元気になる

育てる 食べる 元気になる

季節によって咲く花が違うように、野菜やくだものもおいしい時期があります。ここでは、春・夏・秋に活動した3つの小学校を紹介いたします。

かぞくと、おともだちとみんなが アクアドームくまとのアイススケートへGO! スケート教室もやってまーす! (詳しくはおたずねください) 3/31(土)まで営業中!!



Fujidana



Spring 春

藤棚給食 小島小学校

校舎の運動場側に、25メートルほどのすばらしい藤棚があります。毎年4月から5月にかけて、たくさんのお花が開きます。そこで、小島小では藤棚の下で給食を食べることにしました。

笑顔でモリモリ食べる子どもたち。風や光が、子どもたちの食欲を大きくしたようです。



Summer 夏

すいか 田原小学校

すいかをつくるためには、4月に、すいかのなえを植えることから始まります。5月には、花付けをします。6月には、てっかをしませ。これは、一株にひとつだけすいかができるようにする作業です。そして7月にしゅうかくです。



Autumn 秋

さつまいも 託麻南小学校

5月になえを植えたさつまいもが、大きくなって食べられるようになるのは10月です。畑にかぶせた黒いビニールシートをはがして、土の中をたどっていくと、土の中からいくつものさつまいもを発見しました。



一人ではかかえきれないほど、たくさんのおさつまいもがほれました。

熊本市の仕事と私たち

このコーナーでは、私たちの暮らしをささえる市の仕事を紹介します。今回は「水産振興センター」です。熊本市には、豊かな海の食べ物を育ててくれる有明海があります。みなさんも、魚をとったり、貝をほったりなどの体験をしたことがあるかもしれません。ここでは、全国でも有名な熊本市のノリについてクイズで紹介いたします。

Q2 ノリはどこでつくられているでしょうか ①山 ②川 ③海 ④森

A 答え ③の「海」です。ノリを育てる作業がはじまると、海にはたくさんの竹の棒が立てられ、ノリの畑ができていきます。

Q1 熊本県でつくられるノリの量は、全国で何位でしょうか ①1位 ②2位 ③3位 ④4位

A 答え ④の全国で「4位」です。1位は佐賀県、2位は福岡県です。熊本県の中だと、いちばん多くノリをつくっているのは熊本市です。

Q3 主にノリがつくられるのは、いつでしょうか ①春 ②夏 ③秋 ④冬

A 答え ④の「冬」です。ノリは、海水の温度が下がらないと育ちません。そこで、10月くらいからノリのタネを網(あみ)につけて、11月くらいから収穫がはじまります。収穫は2月頃まで続きます。



ハクイズ!!

ノリができるまでを紹介します。

①貝がらの中に、ノリの種(たね)が入っています ②網(あみ)の下に貝がらをぶら下げて海にもっていきます(10月頃) ③貝がらからノリの種(たね)が出てきて網(あみ)にくっきます ④目で見るまで大きくなりました ⑤冬の海でノリがスクスクそだっています ⑥長さ15~20cmにそだったら収穫(しゅうかく)します ⑦機械でこまかく切って四角にかわします ⑧板(いた)のりのできあがり このあと、工場で焼のり、味付けのりに加工(かこう)されていきます。

WING館 おすすめインフォメーション 冬をアクティブにおしゃれに楽しもう! 寒い冬でも旅行やスポーツを楽しむ、おしゃれママを応援します! キュートなトラベルグッズや機能性・デザイン性ともに優れたランニングウェアがおすすすめ! さあ、あなたはトラベル派?ランニング派? 熊本城マラソン応援企画 ランニンググッズフェア

水産振興センターでは、漁業をさかんにする仕事を中心にしています。ここではその中から4つの仕事についておながいしました。教えていただいたのは、松田篤志さんです。 漁港の管理 漁港を使う人が使いやすいように、船にかかる浮きさんばしをつくったり、砂がたまって漁港の中が浅くならないように、定期的に取り除く作業をしています。 アサリが育つ環境作り 干潟(ひがた)に砂をまいていきます。こうすることで、干潟(ひがた)にたくさんのアサリが育つようになります。 干潟体験 水産業について知ってもらおうと、平成20年度から行っています。今年度は田原小の児童が体験しました。2月には教室で、ノリについて教えてもらう予定です。 ケルマエビ・ヒラメなどの放流 ケルマエビや魚などの数が減っています。これらが、少しでも減らないよう、子どものエビ・魚たちを放流しています。他に、アユやカサゴの放流もしています。